

第4章 新市における福岡県事業の推進

第1節 福岡県における新市の位置付け

新市を含む筑後地域は、「ふくおか新世紀計画」の県土整備構想として『筑後田園都市圏構想および福岡・筑後活力コリドー（回廊）構想』が打ち出され、戦略的な整備を進めることを明らかにされているエリアに位置しています。

（1）筑後田園都市圏構想および福岡・筑後活力コリドー構想

筑後田園都市圏構想は、豊かな自然と文化・歴史に育まれ、多様な産業が集積し個性ある都市群と魅力ある地域が展開するという筑後地域の特性を活かし、集中的な都市機能の集積によらず、面的な広がりを持った都市機能のネットワーク化を図ることにより、自然に恵まれた田園都市空間の形成を旨とする21世紀型の新たな都市づくりを進めるものです。

また、福岡・筑後活力コリドー構想は、福岡都市圏との交通軸や情報基盤の強化により福岡都市圏の活力を筑後地域に呼び込み、新たな活力の創出を図るものです。

これらの構想実現を図るための主要な施策として、九州新幹線の整備促進、道路交通網の整備促進等の広域交通網整備を図るとともに、競争力のある産地の育成、観光の振興や福岡バイオバレー構想（バイオ産業拠点化）の推進など、多様な産業機能の集積に取り組むこととしています。

また、福岡県では筑後田園都市圏構想の具現化を図るために、平成14年度に筑後田園都市圏検討委員会を設置し、今後の筑後地域のあり方を検討したところであり、現在、県においてその具現化に向けて様々な取組みを進めています。

（2）福岡県における新市が目ざす役割

筑後田園都市圏の中核都市である新市が目ざす都市は、地域特性である豊かな自然環境と高次の都市機能を活かし、福岡県の多様な魅力の創出と均衡ある発展を進める都市です。そのために、筑後地域に脈々と息づく伝統と文化に根ざしながらも、多様な自然と豊富な教育資源・医療資源に裏付けられた21世紀のゆとりあるライフスタイルが展開できる地域魅力を活性化するとともに、福岡・北九州等の大都市圏との交流を促進することが重要です。

多極的な県土整備を進める視点から、筑後地域の特性を活かした魅力ある都市圏づくりが求められているところであり、その中核的な機能を果たす新市の役割は大きいものがあります。そのために、久留米広域合併地域は、広域合併の実現により中核市を目ざし、魅力ある都市圏づくりのリーダーとして牽引する行政機能の整備を図ることとします。

第2節 新市における福岡県事業

新市の建設に当たって、県が主体となって実施する事業は次のとおりです。

（1）主要幹線道路網の整備

新市の地勢は、東西に長く、南北に福岡都市圏や熊本都市圏等の大都市圏に近接しています。また、九州を縦横断する高速道路網のクロスポイントに近く、鹿児島本線、久大本線、西鉄天神大牟田線、西鉄甘木線等の公共交通網が形成されています。今後は、これらのポテンシャルを活かした、都市圏間の交流促進、都市骨格の形成、都市的サービス利用の拡大を図

ることが求められています。そのためには、道路幹線軸の整備を図るとともに、それらの幹線軸と周囲の都市圏との円滑な交通アクセス環境の整備や、幹線軸間の環状線によるネットワーク化が必要となります。このために、新市のポテンシャルと筑後地域への波及効果を踏まえて、東西幹線軸の整備、南北幹線軸の整備、環状線の整備を視点に主要地方道などの整備を進めます。

東西幹線軸の整備

新市は、市域における東西の距離が 32.15km と長く、新市の東部地域と西部地域を結ぶ東西幹線軸の整備が重要であります。そのため、東西の円滑な交通アクセス整備充実のために主要地方道等の整備を計画的に進めます。

南北幹線軸の整備

新市は、筑後田園都市圏である 150 万人都市圏の中心部に位置しています。西北部に位置する鳥栖市・佐賀市など佐賀県東部地域との交流、北部地域に位置する福岡市等の福岡県北地域との交流、南部地域に位置する熊本地域との交流の促進により、新市が有する医療資源・教育資源の有効活用や、緑と自然豊かな魅力ある田園都市としての活用を図るために、アクセス機能を高める主要地方道等の整備を計画的に進めます。

環状線の整備

新市は、都心部を中心に国道が放射状に発達しているために、都心部の交通渋滞が発生しています。東西幹線軸と南北幹線軸を環状にネットワークすることにより、産業道路や生活道路等の道路機能の分担を図り、都心部の渋滞緩和により交通の円滑化を図ります。

(2) 農業生産・農村生活基盤の整備

新市は、福岡県において農業粗生産額が 1 位であり、国内においても有数の農業地域であります。また、歴史的にも野菜生産にいち早く取り組む等農業先進地域でもあります。これらの肥沃な大地や豊富な水などの恵まれた環境と、歴史と伝統に基づくノウハウを活かした、高付加価値で生産性の高い農業の振興が求められています。このため、ほ場整備や用排水路、農道整備等の生産基盤の整備を意欲的に進めます。また、農村生活環境の整備を進め、活力ある農村づくりと営農意欲の高揚を図ります。更に、新市の特色である都市近郊森林を活かすために、森林の多様な公益機能である防災機能や環境保全機能を活かした森林整備に取り組みます。

(3) 戦略的成長産業の振興

福岡県においては、将来的に大きな成長が見込まれる新産業の育成を図るために、地域の特性・資源を活かした取り組みを進めているところです。特に、バイオテクノロジーを活用したバイオ産業は、21 世紀の産業の中心を担うものであり、将来にわたって経済社会の持続的発展を図る基盤となるものです。新市は、久留米大学医学部、久留米工業高等専門学校、福岡県生物食品研究所、福岡県森林林業技術センター、(独)農業技術研究機構九州沖縄農業研究センターなどの高等教育機関や研究施設、高次医療機能を

有する医療機関、豊富な農林業資源等が集積し、バイオ産業の育成にあたって多様な産業シーズが豊富な地域です。

これらの地域特性・資源を活かし、福岡バイオバレー構想の拠点地域として新市を対象に、都市エリア事業など産学官共同研究開発事業の推進、バイオインキュベーションセンターの建設など産業拠点の形成、久留米アジアバイオ特区構想などを進めてきたところですが、今後さらに、メディカルバイオからアグリバイオまで、幅広い分野にわたってのバイオ産業振興のための環境整備に取り組みます。